

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	962,749,478	695,574,358	267,175,120
未収収益	688,565,873	714,970,864	△26,404,991
前払費用	54,147	115,068	△60,921
立替金	1,553,448	1,788,557	△235,109
求償権	9,274,013,233	9,637,540,176	△363,526,943
求償権償却引当金	△8,762,115,703	△9,386,955,069	624,839,366
流動資産合計	2,164,820,476	1,663,033,954	501,786,522
2. 固定資産			
(1) 特定資産	27,263,451,000	25,958,200,500	1,305,250,500
再保証等寄託金見合投資有価証券	11,005,840,000	11,005,840,000	0
繰入金見合投資有価証券	16,200,000,000	14,900,000,000	1,300,000,000
退職給付引当預金	57,611,000	52,360,500	5,250,500
(2) その他固定資産	35,309,804,843	33,587,355,736	1,722,449,107
建物附属設備	506,655	648,739	△142,084
什器備品	1,368,794	1,290,352	78,442
リース資産	11,962,063	977,561	10,984,502
ソフトウェア	13,023,331	11,432,084	1,591,247
投資有価証券	35,282,944,000	33,573,007,000	1,709,937,000
固定資産合計	62,573,255,843	59,545,556,236	3,027,699,607
3. 保証債務見返			
再保証債務見返	4,607,627,311,110	4,460,537,156,112	147,090,154,998
直接保証債務見返	123,759,096	194,216,056	△70,456,960
保証債務見返合計	4,607,751,070,206	4,460,731,372,168	147,019,698,038
資産合計	4,672,489,146,525	4,521,939,962,358	150,549,184,167

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未経過保証料	877,846	2,002,499	△1,124,653
預り金	2,285,362	1,849,257	436,105
未払金	9,657,600	9,236,200	421,400
未払費用	26,328,417	26,039,765	288,652
リース債務	2,648,175	0	2,648,175
流動負債合計	41,797,400	39,127,721	2,669,679
2. 固定負債			
再保証等寄託金	11,005,840,000	11,005,840,000	0
長期リース債務	8,388,226	0	8,388,226
保証責任準備金	27,598,092,727	26,712,513,260	885,579,467
退職給付引当金	57,611,000	52,360,500	5,250,500
固定負債合計	38,669,931,953	37,770,713,760	899,218,193
3. 保証債務			
再保証債務	4,607,627,311,110	4,460,537,156,112	147,090,154,998
直接保証債務	123,759,096	194,216,056	△70,456,960
保証債務合計	4,607,751,070,206	4,460,731,372,168	147,019,698,038
負債合計	4,646,462,799,559	4,498,541,213,649	147,921,585,910
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	26,026,346,966	23,398,748,709	2,627,598,257
(うち特定資産への充当額)	(16,200,000,000)	(14,900,000,000)	(1,300,000,000)
正味財産合計	26,026,346,966	23,398,748,709	2,627,598,257
負債及び正味財産合計	4,672,489,146,525	4,521,939,962,358	150,549,184,167

正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産等運用益	662,728,324	655,921,812	6,806,512
預金利息	15,936	21,994	△6,058
有価証券利息配当	662,712,388	655,899,818	6,812,570
② 事業収益	3,748,668,409	3,938,729,194	△190,060,785
保証料	3,590,943,970	3,773,656,157	△182,712,187
求償権利息等	120,601,588	122,429,200	△1,827,612
償却求償権取立益	37,122,851	42,643,837	△5,520,986
③ その他収益	624,890,597	881,154,772	△256,264,175
求償権償却引当金戻入	624,839,366	881,098,856	△256,259,490
雑収益	51,231	55,916	△4,685
経常収益計	5,036,287,330	5,475,805,778	△439,518,448
(2) 経常費用			
① 事業費	2,249,818,281	2,581,161,392	△331,343,111
求償権償却費	827,654,222	1,224,173,818	△396,519,596
求償権免除損	30,698,455	0	30,698,455
保証責任準備金繰入	885,579,467	851,262,671	34,316,796
求償権回収助成費	215,977,667	206,501,072	9,476,595
役員報酬	9,052,670	9,052,670	0
給料手当	95,410,240	104,147,655	△8,737,415
退職給付費用	7,853,633	7,971,198	△117,565
福利厚生費	15,444,633	16,352,381	△907,748
システム保守費	103,599,353	103,822,903	△223,550
印刷製本費	500,181	756,526	△256,345
事務委託費	4,536	76,356	△71,820
信用調査費	982,053	985,040	△2,987
会議費	489,104	556,566	△67,462
旅費交通費	7,677,588	8,653,974	△976,386
事業推進費	3,821,989	3,297,869	524,120
債権管理費	0	328,079	△328,079
通信運搬費	5,034,975	4,088,090	946,885
減価償却費	9,673,815	8,729,505	944,310
消耗品費	468,856	349,928	118,928
光熱水料費	157,636	153,461	4,175
建物賃借料	21,641,364	21,641,364	0
事務用機器賃借料	1,718,966	1,610,709	108,257
保険料	504,600	512,020	△7,420
図書費	183,751	165,840	17,911
倉庫保管料	748,527	811,911	△63,384
支払負担金	4,940,000	4,940,000	0
雑費	0	219,786	△219,786

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
② 管理費	158,870,792	162,424,656	△3,553,864
役員報酬	7,087,830	6,923,330	164,500
給料手当	18,240,625	23,556,977	△5,316,352
退職給付費用	3,170,767	3,503,102	△332,335
福利厚生費	4,739,819	5,438,233	△698,414
印刷製本費	263,914	232,496	31,418
会議費	4,240,464	4,264,752	△24,288
旅費交通費	4,538,098	3,311,647	1,226,451
通信運搬費	1,942,986	1,861,663	81,323
減価償却費	304,457	289,802	14,655
消耗品費	217,285	60,027	157,258
建物賃借料	4,750,548	4,750,548	0
事務用機器賃借料	264,194	236,177	28,017
諸謝金	4,274,856	4,343,436	△68,580
図書費	348,647	263,892	84,755
倉庫保管料	164,312	178,224	△13,912
支払利息	464,509	129,876	334,633
支払手数料	2,262,816	768,932	1,493,884
支払負担金	40,000	40,000	0
租税公課	100,039,481	101,208,903	△1,169,422
交際費	74,978	69,975	5,003
雑費	1,440,206	992,664	447,542
經常費用計	2,408,689,073	2,743,586,048	△334,896,975
当期經常増減額	2,627,598,257	2,732,219,730	△104,621,473
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益	0	0	0
(2) 經常外費用	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,627,598,257	2,732,219,730	△104,621,473
一般正味財産期首残高	23,398,748,709	20,666,528,979	2,732,219,730
一般正味財産期末残高	26,026,346,966	23,398,748,709	2,627,598,257
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	26,026,346,966	23,398,748,709	2,627,598,257

財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2 重要な会計方針

「公益法人会計基準」を採用している。

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

満期保有目的有価証券：償却原価法（定額法）によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

a 建物附属設備

平成 28 年 3 月 31 日以前に取得した物件は定率法により、平成 28 年 4 月 1 日以後取得分は定額法によっている。

b 什器備品

定率法によっている。

c リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち重要性が乏しいリース物件を除き、リース期間定額法によっている。

d ソフトウェア

利用可能期間(5年)に基づく定額法によっている。

(3) 引当金および準備金の計上基準

a 保証責任準備金

債務保証にかかる損失に備えて、期末における保証残高(再保証事業については再保証残高)から下記のみなし求償権対象案件の再保証残高の 50%(のみなし求償権対象再保証残高)を控除した額に対し損失発生見込額を計上している。

・のみなし求償権対象案件の再保証残高

「中小企業金融円滑化法」の趣旨に基づき再保証条件変更等を実施した案件にかかる再保証残高。

平成 29 年度末残高	16,137,898,430 円
-------------	------------------

うちのみなし求償権対象再保証残高	8,068,949,215 円
------------------	-----------------

b 求償権償却引当金

求償権および下記のみなし求償権(のみなし求償権対象再保証残高の 50%)の回収不能による損失に備えるため、それぞれの期末残高に対し、求償権の回収実績による回収の可能性を勘案した回収不能見込額を計上している。

のみなし求償権対象再保証残高	8,068,949,215 円
----------------	-----------------

うちのみなし求償権残高	4,034,474,608 円
-------------	-----------------

c 退職給付引当金

役職員の退任慰労金・退職金支払いに備えるため、役員については内規に基づく年度末時点の要支給額を、職員については年度末時点の退職給与の自己都合要支給額に相当する額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3 会計方針の変更

変更なし。

4 基本財産および特定資産の増減額およびその残高

基本財産および特定資産の増減額およびその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	—	—	—	—
特定資産計	25,958,200,500	1,311,024,400	5,773,900	27,263,451,000
再保証等寄託金見合投資有価証券	11,005,840,000	0	0	11,005,840,000
繰入金見合投資有価証券	14,900,000,000	1,300,000,000	0	16,200,000,000
退職給付引当預金	52,360,500	11,024,400	5,773,900	57,611,000

5 基本財産および特定資産の財源等の内訳

基本財産および特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産計	—	(—)	(—)	(—)
特定資産計	27,263,451,000	(—)	(16,200,000,000)	(11,063,451,000)
再保証等寄託金見合投資有価証券	11,005,840,000	(—)	(—)	(11,005,840,000)
繰入金見合投資有価証券	16,200,000,000	(—)	(16,200,000,000)	(—)
退職給付引当預金	57,611,000	(—)	(—)	(57,611,000)

6 担保に供している資産

担保に提供している資産はない。

7 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	17,579,115	17,072,460	506,655
什器備品	15,945,127	14,576,333	1,368,794
リース資産	26,797,615	14,835,552	11,962,063
ソフトウェア	44,489,246	31,465,915	13,023,331
計	104,811,103	77,950,260	26,860,843

8 保証債務等の偶発債務

貸借対照表に表示している保証債務以外の偶発債務はない。

9 満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価評価額および評価損益

満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価評価額および評価損益は次のとおりである。

(単位：円)

科目	帳簿価額	時価評価額	評価損益
国債	11,686,629,000	12,672,710,000	986,081,000
地方債	8,898,450,000	9,564,500,000	666,050,000
特別法人債	20,483,936,000	22,431,690,000	1,947,754,000
金融債	12,500,000,000	12,519,110,000	19,110,000
社債	8,919,769,000	9,435,237,400	515,468,400
計	62,488,784,000	66,623,247,400	4,134,463,400

10 一般正味財産の内訳

一般正味財産の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	期中増減	当期末残高
繰入金	14,900,000,000	1,300,000,000	16,200,000,000
準備金	8,498,748,709	1,327,598,257	9,826,346,966
計	23,398,748,709	2,627,598,257	26,026,346,966

11 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引はない。

12 重要な後発事象

重要な後発事象はない。

以上

附属明細書

1 基本財産および特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載のとおり。

2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
求償権償却引当金	9,386,955,069	8,762,115,703	0	9,386,955,069	8,762,115,703
保証責任準備金	26,712,513,260	885,579,467	0	0	27,598,092,727
退職給付引当金	52,360,500	11,024,400	5,773,900	0	57,611,000

- (注) 1 求償権償却引当金の当期減少額 その他金額は、洗替えによる取崩しによるもの。
- 2 求償権償却引当金には以下のみなし求償権にかかる引当金額を含む。
- ・「中小企業金融円滑化法」の趣旨に基づき再保証条件変更を実施した案件残高の25%を求償権とみなし、所定の求償権償却引当率を乗じて算出した金額。
- 3 保証責任準備金は、以下のみなし求償権にかかる再保証残高に対する保証責任準備金相当額を控除している。
- ・「中小企業金融円滑化法」の趣旨に基づき再保証条件変更を実施した案件残高の50%に対し、所定の準備金率を乗じて算出した金額。

以 上